

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会
平成16(2004)年度第1回相互協力委員会議事録

日時：2004年5月13日(木)16時15分～17時00分

場所：名古屋経済大学 会議室

出席者：鈴木卓美(金城学院大学)、浜口庸介(愛知大学)、足立祐輔(愛知学院大学)、
丹羽直美(愛知学泉大学)、柘植幸子(椋山女学園大学)、松永ひとみ(鈴鹿医療科
学大学)、西本和雄(中京大学)、岩田真美(南山大学)、時實育代(日本福祉大学)、
水野仁子(名城大学)、蓑島智子(中部大学)

計11名

記録：蓑島智子(中部大学)

【協議事項】

1. 2004年度活動計画ならびに予算について

上記について資料に基づき、委員長から説明があった。

なお、以下について報告があった。

- ・「データベース共同トライアル・合同説明会」は7月の第4週に椋山女学園大学で開催予定。今回は日本のデータベースを中心とし、若干海外のデータベースを加えた形で開催する。業者は、日外アソシエーツ、紀伊國屋、TKC、丸善、日経メディアマーケティング、サンメディアを予定。
- ・「情報化委員会・相互協力委員会の統合」については、12月に原案を常任幹事会に提出し、3月には結論を出す方向で検討したい。
- ・今年度から予算の「交付金」という名称が「支援費」と変更された。また残金が出た場合、協議会へ返済し、不足となった場合は補填されることとなった。研修会の会計については別立てだったものが、今年度より委員会会計に組み込まれる形となり、監査を受けることとなった。

2. 委員役割分担について

上記について、今年度は以下の担当で行なうことが確認された。

- ・書記 松永委員・蓑島委員
- ・会計 岩田委員
- ・研修会 鈴木委員長・三浦委員長[情報化委員会]
足立委員・西本委員・浜口委員・松永委員・柘植委員
- ・アンケート分析 丹羽委員、時實委員
- ・ホームページ 丹羽委員

3. 実務担当者研修会について

合同委員会の議事録の通りである。

4. データベース説明会について

活動計画で報告した通りである。

5. システム・ネットワーク化アンケートについて

合同委員会で協議された内容に加え、以下の項目について追加・削除を行なうことが承認された。

[追加]

- ・ Q9 相互協力（文献複写）に関する状況
 - 「文献送付方法」郵便・FAX・電子メール * Q9-4-1 の場所に入れる
 - 「FAX、電子メールで送る場合の料金設定について」 * Q9-4-2 の場所に入れる
- ・ Q 6 - 1 の「学内刊行物（紀要など）」の選択肢に「NII」を追加する。

[削除]

- Q 9 - 4（文献複写料金受付方法）
- Q 9 - 5（文献複写依頼先組織種別）
- Q 9 - 6（東海地区協議会加盟館間の利用について）
- Q 10 - 4（文献貸借料金受付方法）
- Q 10 - 5（文献貸借依頼先組織種別）
- Q 10 - 6（東海地区協議会加盟館間の利用について）

6．東海地区協議会ホームページについて

- ・ 議事録のアップについては丹羽委員が担当することとなった。
- ・ 「紀要・学内学会誌分担保保存一覧」の取扱いについては、「システム・ネットワーク化アンケート」の Q6-1 の回答の集計結果も参考にしながら、今後検討していくこととなった。

7．見学について

委員の方は是非参加して欲しいと鈴木委員長より呼びかけがあった。

8．その他

鈴木委員長より、以下について報告があった。

- ・ 資料に基づき北海道地区のコンソーシアムについて報告があった。利用も多く活発に活動しているということであるが、その要因の一つとして参加大学が国道沿いにあり、地理的に利用しやすい環境であることがあげられた。
- ・ 東海地区大学図書館協議会では、東海4県の大学図書館と公共図書館が連携・協力が可能な事柄について、課題別検討グループを設置して検討中である。

以上